

## 米国株下落、米個人消費の先行き不安を意識

## 主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	2月20日	2月19日	前日差
日本	日経平均株価(円)	38,678.04	39,164.61	-486.57
	- CME日経平均先物(円)	38,555.00	38,985.00	-430.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,734.60	2,767.25	-32.65
	参考) 東証REIT指数	1,686.61	1,686.64	-0.03
米国	NYダウ(米ドル)	44,176.65	44,627.59	-450.94
	S&P500	6,117.52	6,144.15	-26.63
	- S&P500配当貴族指数	4,713.51	4,700.20	13.31
	ナスダック総合指数	19,962.36	20,056.25	-93.89
ドイツ	DAX®指数	22,314.65	22,433.63	-118.98
英国	FTSE100指数	8,662.97	8,712.53	-49.56
豪州	S&P/ASX200指数	8,322.82	8,419.19	-96.37
中国	上海総合指数	3,350.78	3,351.54	-0.76
香港	ハンセン指数	22,576.98	22,944.24	-367.26
インド	S&P BSE SENSEX指数	75,735.96	75,939.18	-203.22
ブラジル	ボベスパ指数	127,600.58	127,308.80	291.78
先進国	MSCI WORLD	3,893.65	3,906.82	-13.17
新興国	MSCI EM	1,132.45	1,136.87	-4.42
商品	(単位:米ドル)	2月20日	2月19日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	72.57	72.25	0.32
金	COMEX先物(期近物)	2,940.00	2,919.40	20.60
10年国債利回り	(単位:%)	2月20日	2月19日	前日差
日本		1.440	1.435	0.005
米国		4.506	4.534	-0.028
ドイツ		2.534	2.557	-0.023
オーストラリア		4.525	4.525	0.001
為替(対円)	(単位:円)	2月20日	2月19日	前日比%
米ドル		149.64	151.47	▲1.21
ユーロ		157.16	157.88	▲0.46
英ポンド		189.57	190.65	▲0.57
カナダドル		105.58	106.42	▲0.79
オーストラリア(豪ドル)		95.78	96.10	▲0.34
NZ(ニュージーランド)ドル		86.24	86.38	▲0.17
シンガポールドル		112.22	112.79	▲0.51
中国人民幣元		20.661	20.833	▲0.83
インドルピー		1.7267	1.7449	▲1.04
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9161	0.9279	▲1.27
メキシコペソ		7.365	7.408	▲0.59
ブラジルレアル		26.239	26.477	▲0.90
トルコリラ		4.108	4.170	▲1.48
ロシアルーブル		1.6872	1.6916	▲0.26

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。  
 MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。  
 WTI (West Texas Intermediate) 原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所 (NYMEX) で取引される米国の代表的な原油先物。  
 COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。  
 表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。  
 前日差は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。  
 本資料は、作成時点でBloombergにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Bloombergにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。  
 出所) MSCI、Bloombergより当社経済調査室作成

## 主要国株式の動き



注) 直近値は2025年2月20日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

## ◆マーケットの動き:

- 日本株軟調。円高進行や日銀追加利上げ観測を嫌気。本日公表される日本の1月消費者物価上振れリスクへの警戒感も。植田日銀総裁は石破首相と昨年10月以来2回目の会談。国内の長期金利上昇は話題に上らずと言及。
- 中国人民銀行は銀行貸出の指標となる最優遇貸出金利の1年物を3.10%、5年物を3.60%に予想通り据え置き。
- 豪ドル底堅い。豪州1月雇用統計で失業率は4.1%に上昇も、就業者数は前月差+4.4万人と予想を大幅に上回る。
- ユーロは対米ドルで上昇。ユーロ圏2月消費者信頼感指数は▲13.6と2カ月連続上昇。家計心理の改善を示唆。
- 米国株軟調。米小売大手ウォルマートの決算発表で業績見通しが予想を下回り消費の先行き不安を意識。セントルイス連銀総裁は米経済のスタグフレーション(景気低迷と物価上昇の同時進行)リスクを指摘。米株安に伴い円相場は昨年12月以来の1米ドル149円台に。

## ◆本日の注目点:

## 米欧の製造業回復の動きは一時的か、持続的か

米欧先進国で2月購買担当者景気指数(PMI、業況改善・悪化の境目は50)速報を公表。注目は製造業。米国が2カ月連続の50超え(予想51.4)、ユーロ圏(同47.0)とドイツ(同45.5)が2カ月連続上昇となれば、製造業回復がトランプ関税前の駆け込み需要ではなく、持続的な動きとの自信深め景気楽観論を下支えか。(瀧澤)

## 主要国金利の動き



注) 直近値は2025年2月20日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

## 主要通貨の動き



注) 直近値は2025年2月20日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

## 本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。  
 TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。  
 ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。  
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとし、FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。  
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会